

## 主題：信者

メッセージ 50

彼らの現在——花嫁としてその靈と一になることで神聖な三一の分与を経験する

聖書：啓 19:7-9. 21:2, 9-11. 22:17

I. 小羊の婚姻は神の新約エコノミーの完了の結果であり、それはキリストのために花嫁、召会を、彼の法理的な贖いを通して、彼の神聖な命における有機的な救いによって得ることです——創 2:22. ローマ 5:10. 啓 19:7-9. 21:2, 9-10：

A. 主の回復は、キリストのすべての勝利者から成る彼の花嫁を用意するためです—— 19:7-9. 参照、創 2:22. マタイ 16:18：

1. すべての勝利者は、その初期の新鮮な段階において千年間、キリストの花嫁としての新エルサレムとなります——啓 19:7。
2. 最終的に、信者のすべてが勝利者に結合して、新天新地で永遠にわたってキリストの花嫁として完全に新エルサレムを究極的に完成し、完了します—— 21:2, 9-11。

B. 団体の花嫁を用意することは、勝利者の命における円熟にかかっています—— 19:7. ヘブル 6:1. ピリピ 3:12-15. エペソ 4:13：

1. 新約で「円熟」という言葉は、信者たちが神の命の中で完全に成長し、円熟し、成就されることを指すのに用いられ、わたしたちが神聖な命の中で成長し円熟して、完全に至る必要があることを示します——マタイ 5:48。
2. わたしたちは成長し続けて、神聖な命において円熟し、完全に成長した人となり、キリストの豊満の身の丈の度量にまで到達する必要があります——エペソ 4:13。

C. 勝利者は分離した個人ではなく、団体の花嫁です。花嫁のこの面のために、建造が必要とされます——啓 19:7. エペソ 2:21-22. 4:15-16：

1. 勝利者は命において円熟しているだけでなく、一人の花嫁として共に建造されています——マタイ 16:18。
2. 聖書の中心的で神聖な思想とは、神がご自身と人性とのミングリングである建造を求めているということです——創 2:22-23. 啓 21:2, 9-11。
3. 信者仲間と共に建造されることは、主の忠信な追い求める者たちへのこの上ない、最高の要求です——エペソ 4:15-16。

D. 啓示録第 19 章 8 節は、花嫁の義について語っています：

1. キリストは義であり、それによってわたしたちは神によって義とされて、靈の中で再び生まれ、神聖な命を受けます—— I コリント 1:30. ローマ 8:10：
  - a. わたしたちの客観的な義として、キリストは、わたしたちが神によって義とされる方です——ローマ 3:24, 28. 4:25. 5: 1, 9, 16, 18。
  - b. 主観的な義として、キリストはわたしたちに内住し、わたしたちのために、神によって義とされることができ、常に神に受け入れられる命を生きる方です——マタイ 5:6, 20。

2. キリストは聖徒たちから、彼らの主觀的な義として生き出して、彼らの婚宴の服となります——22:11-13. 啓 19:8。

E. エペソ第 5 章 27 節は花嫁の美しさを啓示しており、キリストが「しみやしわや、そのようなものが何もなく、聖くて傷のない栄光の召会を」ご自身にささげると言っています：

1. 花嫁として、召会は美しさを必要とします。エペソ第 5 章 27 節の美しさは花嫁をささげるためです。

2. 花嫁の美しさは、召会の中に造り込まれ、召会を通して表現されるキリストから来ます——3:17 前半. 雅 4:10-15。

F. 花嫁は戦士となります。キリストは戦う將軍として彼の花嫁の軍隊と共に来て、ハルマゲドンで反キリストと戦います——啓 19:11-21。

## II. 手順を経て究極的に完成された三一の神を経験し享受した結果は、信者たちが花嫁として、その靈と一になることです——22:17：

A. 手順を経て究極的に完成された三一の神の神聖な分与の究極的完成は、宇宙的な婚姻となります。その靈は、分与された三一の神の究極的完成として、再生され造り変えられた三部分から成るすべての信者の集大成である花嫁と一になります——19:7-9. 21:2, 9. 22:17。

B. 啓示録第 22 章 17 節に、宇宙的な夫婦の形成があります：

1. この夫婦は、手順を経て分与された三一の神と、再生され造り変えられた三部分から成る人とのミングリングです。

2. この夫婦は、聖書に啓示された神聖なロマンスの究極的な完成です——イザヤ 54:5. エレミヤ 3:14. 31:32. ホセア 2:19。

3. 永遠にわたって、この宇宙的な夫婦は三一の神の完全な現れとなり、彼のすべての栄光の中で表現されます——啓 21:9-11。

C. その靈と花嫁は主の来臨に対する願いを表現します——22:7, 12, 17。

D. その靈と花嫁は渴いている者に、来て命の水（手順を経た分与する三一の神）を飲むようにと召しています——17 節：

1. この召しに答え、来て命の水を飲む者はだれでも、神のエコノミーの永遠の目標にあずかります。すなわち、手順を経て究極的に完成された三一の神の分与にあずかり、小羊の花嫁の一部となって、手順を経て分与する三一の神の満足また表現となります。

2. これは三一の神の神聖なエコノミーの永遠の定められた御旨を完成し、永遠において彼の大いなる喜びが来るという彼の心の願いにしたがっています——エペソ 1:9-11. 3:9-11。

E. 手順を経て究極的に完成された三一の神の分与を経験し享受した結果として、信者たちは、主イエスが再臨して、彼らを彼らの将来に、すなわち、三一の神との永遠の結婚生活に導き入れることを期待し、待ち望んでいます——啓 21:2, 9-11. 22:20。